

「心のふるさと」深野を守り 都市との交流で地域を元気に ～ 深野^{まる まる}〇〇会～（宇陀市）

「深野にとって良いことをしよう」を合言葉に活動を始める

宇陀市室生深野地区は、昔ながらの集落と棚田が広がる風光明媚な山里です。人口減少と高齢化で空き家が目立つようになったことから、地域の助け合いと都市との交流に取り組もうと、「深野にとって良いことをしよう」を合言葉に昭和62年から「深野^{まる まる}〇〇会」の活動が始まりました。平成21年には「にほんの里100選」にも選ばれています。

現在は、集落29戸のうち移住家族を含め20戸が活動に参加しています。また、空き家を活用し、都市との二拠点居住で山里生活を楽しむ方もおられます。



「深野〇〇会」の役員の皆さん

地域住民がひとつになり様々な活動を展開

「深野〇〇会」は、地域住民がひとつになって山里の保存や美しい景観づくり、伝統文化の継承、都市との交流など様々な活動を行ってきました。

中でもササユリの保護活動は、平成18年から続く取組です。ササユリの生息地の草刈りや獣害対策、苗づくりや生長の記録など保護だけでなく増殖にも取り組み、ササユリを目当てに深野を訪れる都市住民との交流も進みました。

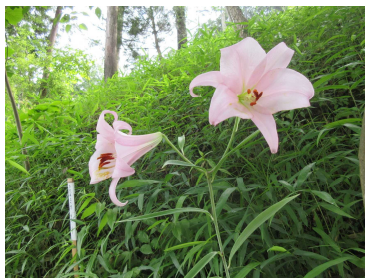
また、深野の魅力に触れ移住してきた家族も活動に参加し、60年ぶりに夏祭り（盆踊り）が復活するなど、地域を盛り上げています。このほか、手づくりの品を持ち寄る「深野めぐりて市」の開催は、地域住民のコミュニティの場となっています。

「深野〇〇会」

- ・ササユリの保護活動
- ・ビオトープの整備
- ・田畑の保全 ・雑木の伐採
- ・「深野めぐりて市」の開催
- ・夏祭り、秋祭り、花火大会

連携

深野地区自治会



保護活動に取り組むササユリ



「深野めぐりて市」の様子

- ・ササユリ保護活動による都市住民との交流
- ・移住家族の積極的な活動への参加
- ・地域住民のコミュニティづくり
- ・秋祭りでの大学生との交流
- ・空き家の解消

活動の後継者を育て「心のふるさと」深野を守る

住民の高齢化により、これまでのような活動は難しくなっていますが、深野の美しい山里の風景と暮らしが「心のふるさと」であり続けるために、活動が継続できる方法を考えながら後継者を育て、都市との交流を進めていくこととしています。



深野展望台から望む深野地区